

日本鉄鋼協会記事

第1回評議員会 8月31日を期日として書面代行をもつて開催、次の議案を審議した。
議案第1号 定款中一部変更の件—原案の通り承認可決。

変 更 案

社団法人日本鉄鋼協会定款中次の通り変更する。

1. 第2条(事務所に関する規定)中「東京都中央区宝町2丁目4番地」とあるを「東京都千代田区丸の内1丁目1番地」に変える。
2. 第11条(正会員会費に関する規定)中「年会費1,500円」とあるを「年会費2,000円」に変える。
3. 第12条(学生会員会費に関する規定)中「年会費1,000円」とあるを「年会費1,200円」に変える。
4. 第13条(外国会員会費に関する規定)中「年会費2,880円」とあるを「年会費3,600円」に変える。
5. 付則に次の項を加える。

第11条,第12条および第13条の変更定款は,昭和39年1月1日から適用する。

議案第2号 名誉会員推挙の件—西独マックスプランク金属研究所長 WERNER KÖSTER 博士を名誉会員に推挙することを議決。

第6回理事会 日時: 9月18日 17:00 開会。場所: 協会々議室。出席者: 三島会長ほか28名。

報告事項 I. 第6回および第7回編集委員会に関する件。II. 第6回企画委員会に関する件。III. 第5回研究委員会に関する件。IV. 第1回評議員会に関する件。V. 50周年記念事業準備委員会発足に関する件。VI. 鉄鋼標準試料委員会委員委嘱の件。VII. クリープ研究組合に関する件。VIII. 第6回本多記念賞受賞候補者推薦書提出の件。IX. 特別講演会開催の件。

協議事項 I. 研究委員委嘱の件。II. 秋季講演大会に関する件。III. 訪英視察団準備に関する件。IV. 協会各受賞候補者推薦依頼の件。V. 協会々員特典に関する件。VI. 鉄鋼生産設備能力調査委員会に関する件。VII. 第4回東洋レーヨン科学技術賞候補者および科学技術研究助成候補者推薦の件。VIII. 第2回原子力総合シンポジウム共催ならびに運営委員推薦の件。IX. 大河内各種賞候補者推薦の件。X. 理工学における同位元素研究連合発表会(仮称)の共同主催の件。XI. 事務局職員採用予定について。XII. 7, 8月中入退会その他会員異動の件。XIII. 7, 8月中収支決算の件。

第6回編集委員会 日時: 8月28日, 29日。場所: 富士製鉄仙石芙蓉荘。出席者: 佐藤理事ほか24名。

報告事項 I. 会誌第8号(8月号), 第9号(臨時増刊号)および第10号(9月号)完成予定について。II. 特別講演掲載について。III. 随想について。IV. 第66回講演大会特別講演会について。

協議事項 I. 寄稿論文の審査。II. 会誌第12号(11月号)掲載論文の選定。III. パネル討論会について。IV. 技術資料について。V. 会誌改善について。VI. 書評について。

第7回編集委員会 日時: 9月11日 17:00 開会。場所: 協会々議室。出席者: 佐藤理事ほか21名。

報告事項 I. 会誌第9号(臨時増刊号)および第10号(9月号)完成予定について。

協議事項 I. 会誌第8号(8月号)の講評。II. 寄稿論文の審査。III. 会誌第14号(12月号)掲載論文の選定。IV. 外国雑誌購入について。V. 海外関連団体行事開催予定について。

第6回企画委員会 日時: 9月10日 17:00 開会。場所: 協会々議室。出席者: 伊木副会長ほか15名。

報告事項 I. 第1回評議員会に関する件。II. 秋季講演大会に関する件。III. 特別講演会開催の件。IV. 鉄鋼生産設備能力調査委員会に関する件。V. 第6回本多記念賞受賞候補者推薦の件。

協議事項 I. 第4回東洋レーヨン科学技術賞候補者および科学技術研究助成金候補者推薦の件。

第5回研究委員会 日時: 9月6日 17:00 開催。場所: 協会々議室。出席者: 村田理事ほか15名。

報告事項 I. 研究委員会設置の経緯について。II. 協会の研究活動について。

協議事項 I. 鉄鋼基礎研究懇談会について。II. 学術振興会の鉄鋼関係諸委員会との連絡について。III. 研究委員会で取り上げるべき問題について。

50周年記念事業準備委員会の発足 5月22日開催の理事会において設置方決定せられた本委員会は, その後次の諸氏が委員に委嘱され9月18日第1回会議を開催, 発足することとなった。

委員長 三島 徳七

委員 伊木 常世 武田 喜三 田畑新太郎 植山 義久 深堀 佐市 村田 巖

山本 信公 川村 宏矣 佐藤 忠雄 雀部 高雄 奥村 虎雄 木下 亨

鉄鋼生産設備能力調査委員会の設置 通産省重工業局長より日本鉄鋼協会々長に対し鉄鋼生産能力算定基準作成の依頼があつたので, これに応じ7月24日の理事会において本委員会設置のことを決定。次の諸氏が委員に委嘱せられその事業に着手した。

委員長 沢村 宏
 委員 松下 幸雄 佐野 幸吉 作井 誠太 林 敏 武田 喜三 石原 善雄
 村田 巖 原田 芳 杉沢 英男 藤本 一郎 木下 亨 福田 久光
 田畑新太郎 (このほか各部会委員は省略)

特別講演会開催 9月26日東京都中央区京橋ブリッジストンビルにおいて開催。講師および演題次の通り。

LD転炉未燃焼ガス回収技術の開発について 八幡製鉄株式会社副社長 湯川正夫君
 内部摩擦による鉄鋼の品質判定 西独マックス・プランク金属研究所長 WERNER KÖSTER 博士

会誌「鉄と鋼」臨時増刊号の発行 共同研究会製鉄部会が研究の成果を取りまとめて「製鉄技術の進歩」と題する報告書を作成したので、これを会誌「鉄と鋼」臨時増刊号(第49年第9号)として発行、会員全般に配布した。

Tetsu to Hagané Overseas の発行 このほど同誌第3巻第2号の編集を完了したので、印刷に付し国内および海外の関係方面に配布するとともに、一般の需めに応ずることとした。

評議員逝去 評議員、前理事岡本正三氏(東京工業大学教授、工学博士)は9月6日逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

鉄鋼標準試料委員会委員委嘱 東京大学工学部工業分析化学教室教授鎌田仁君を鉄鋼標準試料委員会委員に委嘱した。

研究委員委嘱 次の諸氏を新たに研究委員に委嘱した。

八幡製鉄技術開発部副部長	橋 本 信
同 計画部部長	内 田 駿一郎
富士製鉄生産管理部	八 塚 健 夫
同 技術開発部	吉 谷 豊
日本鋼管技術部技術開発室課長	原 淳
同 同	水 井 清
川崎製鉄千葉製鉄所千葉研究部第一研究課長	佐々木 健 二
住友金属工業本社技術部技術課長	長谷川 太 郎
神戸製鋼神戸工場技術課長	三 木 修
東北大学工学部教授	不 破 祐
京都大学工学部教授	盛 利 貞
東京工業大学精密工学研究所教授	田 中 実

支 部 記 事

東 北 支 部

金属関係学協会東北支部連合研究発表会 9月20日東北大学工学部において開催、研究発表講演が行なわれた。そのうち日本鉄鋼協会東北支部を講演希望支部とした講演は下記の通り。

1. 砂鉄中のチタンの分離について 秋田大学鉱山学部 佐藤 良蔵 ○田口 昇
2. 溶鉄中の燐と酸素の相互作用係数について 東北大学選鉱製鉄研究所 三本木貢治 ○小泉 秀雄
3. ビレットの連続超音波探傷法について 富士製鉄釜石製鉄所研究所 鳥取友次郎 清水 幸雄 駒塚正一郎 ○桑畑 恒雄
4. 蛍光X線による炉中分析について 東北特殊鋼 ○大沼 光輝 菊池 隆 菅野 清
5. 各種鋳物用銑鉄の性状について 富士製鉄釜石製鉄所研究所 庄野 四朗○千田 昭夫 井岡 宥夫
6. 砂鉄銑のダクタイル用銑としての特性について 日本高周波鋼業八戸工場 小西恭三 ○加藤政治郎
7. 含窒素耐熱鋼の縞状組織について 東北特殊鋼 大原正志郎 ○矢ヶ崎秀雄 千石 興治 鈴木 一男
8. 含モリブデン高マンガンオーステナイト鋼の研究 秋田大学鉱山学部 橋浦 広吉 渡部 允
9. Si 処理ダクタイルのフェライト化焼鈍について 東北特殊鋼 和泉 純夫 ○柏原 光陽 横尾 博
10. 熱処理による黒鉛の挙動について(黒鉛鋼の研究) 東北特殊鋼 武内 政敏 ○岩佐 俊雄 長岡 勝昭

講演会後2班に分れA班は東北大学金属材料研究所、B班は東北大学選鉱製鉄研究所を見学した。

ケスター博士講演会 10月1日金属学会東北支部と共催。会場—東北大学金属材料研究所

講演 工業用鉄の品質に関する考察 西独マックス・プランク金属研究所長 ヴェルナー・ケスター博士

北 陸 支 部

文部省委嘱機械金属工学講座 8月5日より13日まで富山大学工学部主催、北陸支部後援の下に富山大学工学部において開催。参加人員240名。学科目および講師次の通り。

特殊製鉄	富山大学工学部教授	森 棟 隆 弘
特殊金属材料	同 教授	室 町 繁 雄
金属組織学	同 助教授	山 田 正 夫

